

針金 勝彦 平政会

避難道路の確保・避難施設の設置

質 県の地震被害調査により津波浸水が想定される落合地区の住民が要望している避難路としての市道の拡幅や避難施設の設置等についての考えは。

答 法律に基づく基本指針により津波浸水想定を検討することになるが、落合地区を含む米代川北部は標高も低く、海岸にも近いことから十分な考慮が必要。避難道路や津波避難施設の整備は、今後の地域防災計画の見直しにおいて、地域の要望等も踏まえ検討する。また、計画策定前でも可能なものについては取り組む。

中心市街地活性化に向け活性化室の役割

質 市街地の活性化には積極的に活動に取り組み若者、客観的な情報から分析するよそ者、大胆な企画を生み出すばかりという3つの者が必要と考えられるが、市のかかわり方は。

答 市では、後期計画の策定に向けて取り組んでいるが、何よりも大きな力となるのは、計画を具現化し、まちの魅力を創造していく事業実施主体や商業者、地域住民の熱意と行動力である。その力を十分に発揮できる環境を整え、市民と行政の協働による中心市街地活性化を推し進めたい。

その他の質問事項

- 防災教育
- 商店街の活性化
- DCCや国民文化祭への取り組み

庄司 紘八 よねしろ会

エネルギーのまちづくり

質 風車は能代以外ではほとんど進んでいる。ぜひ、市もおくれをとらずメンテナンス工場も含めて進めてほしい。特にメンテナンス工場は大きな雇用の可能性がある。

答 メンテナンス工場誘致の動きとして、詳細は不明だが、本市にある風力発電システムメンテナンスサービスセンターが拡張計画を進めていると伺っている。また、本市にもメンテナンスの技術を持つ企業もある。これらの企業が風力発電のメンテナンスに参加し、雇用拡大につながるよう支援したい。

能代北高跡地の利活用

質 歴史民俗資料館や美術展示館整備は、長年関係団体より要望されており、それらも含め久慈市にあるような「街の駅」を整備し近隣商店街にも波及効果が出る施設設置を。

答 能代北高跡地については、中心市街地活性化重点区域にあり、現在、利活用を検討している。「街の駅」のような機能の整備については、今後、周辺商店街や他の機能等との関連も考慮しながら検討すべき課題と捉えている。

その他の質問事項

- 東能代駅名変更
- 松枯れやナラ枯れ
- 平成25年度地域雇用創出推進事業

信太 和子 市民連合

人口減少と地域づくり

質 2040年市の人口推計は3万1700人とのことだ。人口減少社会を能動的に受けとめ、行政サービスの向上・コンパクトなまちづくり・インフラの整備を目指すべきでは。

答 将来にわたり地域を維持・発展させるため「若者の定住に結びつく産業の創出と雇用の確保」、「市民が地域で活躍できる環境の整備」、「市民の暮らしの向上と安心の確保」について重点的に取り組みを進めることにしている。また、行財政改革や社会資本の効率的な整備等、行政運営の効率化に引き続き取り組む。

農業の6次産業化

質 農業の6次産業化法が制定され、生産者等が生産・加工・流通販売までかわることで活性化を目指している。総合化事業計画の大臣認定の支援を市でもするべきではないか。

答 国が各県ごとに設置する6次産業化サポートセンターで、認定申請から認定後のフォローアップまで一貫サポートしている。市に相談があった際は、同センターへの紹介と情報提供や手続等について積極的に支援している。今後も新たに取り組む事業者の発掘も含め、6次産業化の支援に努める。

その他の質問事項

- 旧料亭金勇の利活用
- 木材振興と秋田杉販売拡大
- ネット教育と情報モラル